

設立から第9期めとなる2015年は、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター（以下「マネジメントセンター」）の独自財源による運営が定着するとともに、空知管内13市町の賛助会員としての加入、夕張市からの調査事業の受託、道空知総合振興局との政策の協調連携など、新たな活動展開の足がかりをつかむことができました。以下、各事業ごとに、2015年の活動についてご報告します。

[活動計画に対して：○=達成 △=途上 ×=未了]

■出版事業

△ブックレットの刊行：刊行予定であった『日本最古のアメリカ製鉄道橋』（ブックレット02：受託出版により増刷）、『朝日炭鉱閉山40年』（ブックレット04：新刊）は、他の業務が忙しく編集作業が進まず刊行に至りませんでした。2016年3月までには刊行にメドをつけたいと考えています。

■炭鉱遺産事業

○石炭博物館のリニューアル計画への参画と支援：夕張市の石炭博物館は、2016年度に模擬坑道を改修、2017年度に博物館の機能・展示の更新を行い、2018年度から新たなコンセプトと体制・機能によってリニューアルオープンする方向で事業が進んでいます。このスケジュールを前提に2015年度は、文化庁の補助事業を導入して事前調査などを行っています。これに対し当NPOは、人材の派遣や仲介、進行監理や関係者間の調整、基盤環境の整備などを行い全面的に協力しました。特に関連して旧夕張石炭歴史村で行ったアートインスタレーションは、会期中に悪天候が連続したにもかかわらず1,200人の来訪者があり、これまでの同種の催事とは異なる夕張の歴史の記憶を有した客層が来訪し、石炭博物館の周辺資源の掘り起こしを図ることができました。

△炭鉄港キャンペーンの継続：「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産認定を背景にして、今年も空知と室蘭・小樽との歴史的つながりをクローズアップする「炭鉄港」を展開しました。マンパワーの限界から3地域を結ぶ大規模な催事は展開できませんでしたが、道の政策として採用されるよう空知総合振興局などに対して随時働きかけと政策形成に向けた支援を行いました。また、世界遺産の登録を記念してマネジメントセンター石蔵で世界遺産展を開催し860名の入場者があったほか、空知管内13市町でぶらぶらまち歩きを実施し延べ180名の参加がありました。

△炭鉱遺産の保全・活用に向けた活動：空知総合振興局の事業に協力して、管内に残る炭鉱遺産の精査を行いました。

■学術支援事業

△「産業的自然」概念確立の実践的調査研究：三笠市の住友炭別炭鉱をモデルに、「産業的自然」の概念確立と実践展開に関する実証調査を、環境省の補助事業を導入して行いました。その成果は、報告書とリーフレットにまとめましたが、残念ながら2015年度は環境省事業に採択されなかったことから、その後の展開深化は一時休止の状況にあります。

○空知産炭地域に対するリファレンス業務や史料の受け入れ保存：マネジメントセンターへの資料寄託は、なお増加の傾向にあります。サルベージ（史料引き揚げ・救出）を優先して全て受けることを基本に対応しましたが、史料の管理・展示・保管の方法が課題になっています。

○管内各地域および他地域の産業遺産活動の支援：求めに応じて随時展開しました。特に8月には、美唄市の高橋市長・佐藤政直さん、空知総合振興局地域政策部の柏木部長・東課長とともにドイツルール地域の現地調査を行い、今後の政策展開にとって大きな力になりました。

■市民団体連携事業

○管内市民団体との関係強化：活動の様々な局面を通じて、管内の他団体との関係を引き続き強化しました。管内団体・自治体などから当NPOが頼りにされる局面はさらに増加しており、そのためにもワンストップサービス拠点のセンターを維持する必要があります。そこで、道空知総合振興局と

協調して管内13町村に働きかけた結果、マネジメントセンターの賃借料相当分を負担するという名目で賛助会員としての入会（会費総額640千円）が実現しました。

- 国内外の炭鉱遺産関係者・団体へのアピールと受入対応**：マネジメントセンターには国内外からの多様な求めが寄せられ、これに対して積極的に対応しました。
- 炭鉱遺産ファンクラブ（炭鉱ナビ）解散に伴う業務の引き継ぎ**：炭鉱ナビが2014年末をもって解散し17名が移行入会しました。所蔵資料を引き受けるとともに、カレンダーを引き継ぎ発行しました。

■拠点施設事業

- マネジメントセンターの継続安定的な運営**：経営資源の制約の中でマネジメントセンターの開館を継続し、ほぼ従来通りの機能を発揮することができました。2015年1～12月の入館者数は4,356名で、これは岩見沢市郷土科学館の入館者数（2013年度=4,840名/うち大人2,023名）にほぼ匹敵しており、マネジメントセンターの役割や存在意義についての認識は引き続き高まりつつあります。空知総合振興局による人的支援の一環として、北海道地域づくりサポート隊員（地域づくり協力隊の北海道版）の魚崎哲二郎さんが、10月からマネジメントセンターに駐在しています。
- 管内各地域の広報を目的とした企画展示の開催**：管内13市町の会員加盟を記念して、9月の百餅祭りに合わせて「空知管内13市町データで比べるまちの変容」を開催しました。石蔵での企画展示や催事は来訪者数の確保にとって有効であることから、今後も新たな展開を模索する必要があります。

■ヘリテージツーリズム事業

- ×**地域限定旅行業の登録**：資産基準欠格の恐れがあったため、今期も登録を延期せざるを得ませんでした。今後とも財務基盤の強化を進め、申請の機会を狙います。
- ×**教育旅行・産業観光の管内各地域別のプラン造成**：旅行業登録の事業展開を抑止している影響で、具体的な取り組みを行うことができませんでした。
- △**営業実績の積み重ね**：他社ツアーのガイド受託、各種催事・視察の手配業務など継続しました。岩見沢観光協会との共催ツアーは、実施手配まで完璧に行っており顧客からの引き合いもありましたが、観光協会が委託した旅行会社が募集業務を放置していたため催行中止となり残念な結果となりました。

■会務

- 賛助会員の拡大**：管内13町村が運営会員として加入しました。
- △**会員サービスの充実**：ニューズペーパー、メールマガジン、ブログによって、法人としての活動情報の発信に務めました。特にブログは、NPOの動きをリアルタイムに伝えるツールとして、広く認知されるに至っています。会員に対しては、刊行物の無償配布や、会員交流会の開催などを行いました。継続的なサービス向上を目指す必要があります。
- ×**広報体制の強化**：今期は目立った成果を挙げることはできませんでした。今後は北海道地域づくりサポート隊の活動と協調展開が期待できます。
- △**事務局スタッフの体制見直し**：専任事務局員の減少を補填する形で、プロジェクト単位で業務に参画してもらう体制を模索しました。
- 会員数**：[2015年12月末] 総数=284名（昨年末262名）、運営会員=40名（同42名）、一般会員=228名（同217名）、賛助会員=16社団体（同3社）、[動静] 入会=56名（同28名）、退会=34名（同20名）、種別変更=1名（同4名）

第2号議案 2015年度活動決算報告、監査報告

2015年 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

2015年12月31日現在

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
現 金	20,275	
普通預金 北洋銀行	2,903,298	
普通預金 空知信用金庫	1,986	
普通預金 北海道労働金庫	3,349	
郵便振替口座	246,504	
現金・預金小計	3,175,412	
(棚卸資産)		
棚卸資産 [販売用書籍]	113,520	
貯蔵品 [バス回数券]	13,858	
棚卸資産小計	127,378	
(その他流動資産)		
前払費用 [保険料・メンテナンス料]	28,980	
その他流動資産小計	28,980	
流動資産合計		3,331,770
2 固定資産		
(有形固定資産)		
什器備品	525,312	
減価償却累計額	▲ 525,310	
有形固定資産小計	2	
(投資その他の資産)		
敷 金	50,000	
投資その他の資産小計	50,000	
固定資産合計		50,002
資産合計		<u>3,381,772</u>
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金 [社会保険料]	23,638	
流動負債合計		23,638
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		23,638
正味財産		<u>3,358,134</u>

2015年 その他事業会計 財産目録

2015年12月31日現在

該当事項なし

2015年 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

2015年12月31日現在

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
現 金	20,275	
普通預金 北洋銀行	2,903,298	
普通預金 空知信用金庫	1,986	
普通預金 北海道労働金庫	3,349	
郵便振替口座	246,504	
現金・預金小計	3,175,412	
(棚卸資産)		
棚卸資産 [販売用書籍]	113,520	
貯蔵品 [バス回数券]	13,858	
その他流動資産小計	127,378	
(その他流動資産)		
前払費用 [保険料・メンテナンス料]	28,980	
その他流動資産小計	28,980	
流動資産合計	3,331,770	
2 固定資産		
(有形固定資産)		
什器備品	525,312	
減価償却累計額	▲ 525,310	
有形固定資産小計	2	
(投資その他の資産)		
敷 金	50,000	
投資その他の資産小計	50,000	
固定資産合計	50,002	
資産合計	3,381,772	
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金 [社会保険料]	23,638	
流動負債合計	23,638	
2 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計	23,638	
III 正味財産の部		
1 前期繰越正味財産	3,000,470	
2 当期正味財産増加額	357,664	
正味財産合計	3,358,134	
負債および正味財産	3,381,772	

2015年 その他事業会計 貸借対照表

2015年12月31日現在

該当事項なし

2015年 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

2015年1月1日～2015年12月31日

単位：円

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取会費		1,641,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金		330,134
3. 事業収益		
商品販売	204,298	
書籍販売	583,266	
飲食	178,550	
ガイドツアー	72,000	
受託業務	6,483,960	
その他	597,006	8,119,080
4. 助成金		
	0	0
5. 補助金		
環境省	2,500,000	
道空知総合振興局	3,000,000	5,500,000
6. その他収益		
受取利息	460	
雑収益	88,799	89,259
経常収益合計		<u>15,679,473</u>
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	2,988,000	
法定福利費	327,237	
雑給	15,500	
人件費計	3,330,737	
(2)その他経費		
売上原価	432,856	
謝金	4,176,611	
通信費	387,489	
光熱用水費	334,908	
旅費交通費	2,158,247	
旅費日当	471,500	
交際費	55,612	
会議費	287,099	
消耗品費	807,548	
図書費	110,024	
印刷費	618,203	
修繕費	92,400	
地代家賃	600,000	
保険料	60,448	
委託料	982,024	
租税公課	8,000	
諸会費	75,300	
賃借料	63,801	
支払手数料	109,394	

	職員研修費	50,000		
	雑費	116,244		
	その他経費計	11,997,708		
	事業費合計		15,328,445	
2. 管理費				
(1)人件費				
	給料手当	0		
	法定福利費	0		
	人件費計	0		
(2)その他経費				
	通信費	1,736		
	旅費交通費	38,910		
	会議費	10,449		
	租税公課	▲ 129,351		
	減価償却費	71,620		
	その他経費計	▲ 6,636		
	管理費合計		▲ 6,636	
経常費用合計				15,321,809
	当期正味財産増加額			357,664
	前期繰越正味財産額			3,000,470
	当期正味財産合計			3,358,134

2015年その他事業会計 活動計算書

2015年1月1日～2015年12月31日

該当事項なし